



# コンテンツ側からみたICANN85の 報告

2026年4月23日

JPMAC（出版5社マンガ海賊版サイト対策会議）

弁護士・弁理士 丸田憲和



## 今日の内容

- 1 はじめに
- 2 DNS Abuse - Associated Domain Check (PDP1)
- 3 RDRS
- 4 Trusted Notifierプログラム

## 1 はじめに

- JPMAC（出版5社マンガ海賊版サイト対策会議）はIPCのメンバー
- ICANN85にて視聴したいくつかのセッションのうち、コンテンツ側の視点で注目したポイントをピックアップしてご報告する
- 本発表は発表者の個人の見解に基づく

## 2 DNS Abuse - Associated Domain Check (PDP1)

目的：登録者のドメインのうち少なくとも一つがRAAで定義されるDNS Abuseに関与していることが判明した場合、当該登録者の顧客アカウントまたは登録者に関連する他のドメインを調査する義務をレジストラに課すこと

セッション: GNSO- DNS Abuse Mitigation PDP1 Working Group Session (1 of 4)



## 2 DNS Abuse - Associated Domain Check (PDP1)

### NetBeaconの報告

- 2024年1月～2025年12月の統計によると、不正利用はエコシステム全体に均等に分布しているわけではなく、特定のレジストラに不正利用が集中しているのが確認できる。これは通常、まとまった不正行為（campaign）に関連している。

## 2 DNS Abuse - Associated Domain Check (PDP1)

### NetBeaconの報告

- 文字列の類似性によるクラスタリングを行ったところ、2025年12月に確認された悪意あるフィッシングの約50%が、何らかの形でcampaignに属していた
  - 5つ以上のドメインを使用 415件
  - 30以上のドメインを使用 18件
  - 100以上のドメインを使用 6件

セッション:GNSO – DNS Abuse Mitigation PDP1 WG  
Session (3 of 4)



## 2 DNS Abuse - Associated Domain Check (PDP1)

(所感)

- ①PDPの進行は大変望ましい
- ②トリガーに海賊版 (Dead Copy) も含めることを求める
- ③海賊版サイトにおける大量のドメインホッピングは状況として同じ

## 3 RDRS

- 「緊急開示 24 時間タイムライン」について、法執行機関（LEA）認証メカニズムが整備され次第、Consensus Policy として発効させる方向
- GACがICANN Boardとの間の「共有ビジョン（shared vision）」である以下の事項の重要性を確認（※）
  - レジストリの参加義務化
  - ccTLDの自主的参加オプション
  - 等

セッション: GAC – Discussion on WHOIS and Registration Data Issues (GAC WHOIS/Data Protection Plenary)

Joint Meeting- GAC and GNSO Council

※[https://gac.icann.org/presentations/public/ICANN85%20WHOIS\\_Data%20Protection%20-%20GAC%20Plenary.pdf?time=1774742400020](https://gac.icann.org/presentations/public/ICANN85%20WHOIS_Data%20Protection%20-%20GAC%20Plenary.pdf?time=1774742400020)

### 3 RDRS

(所感)

①全レジストラの参加が実現すれば大変望ましい

→ RDRS不参加のレジストラへ移行する事態の回避・低減

②緊急開示 24 時間タイムラインも望ましい

## 4 Trusted Notifierプログラム

- インド .IN における KYC 義務化と AI ベースのモニタリングによる Abuse 対策の紹介
- Trusted Notifierプログラムによりテイクダウンを効率化できる可能性の指摘

セッション: GAC – Discussion on DNS Abuse Mitigation

GNSO – IPC Membership Work Session

## 4 Trusted Notifierプログラム

(所感)

- ①大きな進捗はなし
- ②テイクダウンの効率化は、コンテンツ侵害において非常に有効な対策となり得る
- ③参加メンバーの拡大が重要